

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 7 区分

【発行日】平成 28 年 5 月 26 日 (2016.5.26)

【公表番号】特表 2016-501168 (P2016-501168A)

【公表日】平成 28 年 1 月 18 日 (2016.1.18)

【年通号数】公開・登録公報 2016-004

【出願番号】特願 2015-544147 (P2015-544147)

【国際特許分類】

B 6 5 H 37/04 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 37/04 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 3 月 29 日 (2016.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ガラス基材を保護する方法であって、
保護フィルムもしくはペーパーとガラス基材の少なくとも 1 つの表面とを接触させる工程；
を有してなり、

前記保護フィルムもしくはペーパーが、式 $R-OH$ （式中、 R は、12～30 個の炭素原子を含む飽和もしくは不飽和の直鎖状もしくは分岐鎖状脂肪族鎖である）を有する少なくとも 1 種の脂肪アルコールを含むスリップ剤組成物を含む、
方法。

【請求項 2】

前記スリップ剤組成物が、約 75 から 100 質量 % の前記少なくとも 1 つの脂肪アルコールを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 R が、12～26 個の炭素原子を含む飽和直鎖状脂肪族鎖である、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記保護フィルムもしくはペーパーが、少なくとも約 200 ナノグラム / cm^2 のスリップ剤組成物を含む、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

ガラス基材を一時的に保護する方法であって、
スリップ剤組成物を有する保護フィルムまたはペーパーとガラス基材の少なくとも 1 つの表面とを接触させる工程であって、前記スリップ剤組成物が、式 $R-OH$ （式中、 R は、12～30 個の炭素原子を含む飽和もしくは不飽和の直鎖状もしくは分岐鎖状脂肪族鎖である）を有する少なくとも 1 種脂肪アルコールを含む、工程；

前記スリップ剤組成物の一部を、前記保護フィルムまたはペーパーから前記ガラス基材の表面へと移行させる工程；及び

前記スリップ剤組成物のある量が前記ガラス基材の表面に残留するように、前記ガラス基材の表面から前記保護フィルムまたはペーパーを除去する工程、を含む方法。

【請求項 6】

前記ガラス基材の表面に残留する前記スリッパ剤組成物の量が、該スリッパ剤組成物が、前記ガラス基材の表面に付着して保護層として作用し、洗浄により前記ガラス基材の表面から除去されるのに十分な量である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記洗浄されたガラス基材の表面上に、 $8 \text{ ナノ} / \text{cm}^2$ 未満の前記スリッパ剤組成物が残留するように前記ガラス基材を洗浄して前記スリッパ剤組成物を除去する工程をさらに含む、請求項 5 または 6 に記載の方法。

【請求項 8】

複合ガラスパッケージであって、
ガラス基材、及び
該ガラス基材の表面に付着した保護フィルムまたはペーパー、
を含み、
前記保護フィルムまたはペーパーが、式 $\text{R} - \text{OH}$ （式中、 R は、 $12 \sim 30$ 個の炭素原子を含む飽和もしくは不飽和の直鎖状もしくは分岐鎖状脂肪族鎖である）を有する少なくとも 1 種脂肪アルコールを含むスリッパ剤組成物を含む、
複合ガラスパッケージ。

【請求項 9】

前記保護フィルムまたはペーパーが、少なくとも約 $200 \text{ ナノグラム} / \text{cm}^2$ のスリッパ剤組成物を含む、請求項 8 に記載の複合ガラスパッケージ。

【請求項 10】

前記少なくとも 1 種の脂肪アルコールが、ラウリルアルコール、トリデシルアルコール、ミリスチルアルコール、ペンタデシルアルコール、セチルアルコール、パルミトレイルアルコール、ヘプタデシルアルコール、ステアリルアルコール、イソステアリルアルコール、オレイルアルコール、リノレイルアルコール、アラキジルアルコール、ベヘニルアルコール、エルシルアルコール、またはそれらの組合せである、請求項 8 または 9 に記載の複合ガラスパッケージ。